

# 平成29年度 学校自己評価システムシート(県立深谷商業高等学校 情報会計専攻科)

目指す学校像	本校の輝かしい歴史と伝統の上に立ち「至誠・士魂商才」の校訓のもと、「中学生が、あこがれを持って目指す学校」、「企業から信頼される生徒を育てる学校」、「地域に貢献し、支援される学校」、「生徒、教職員が生き生きと活動する学校」を目指す。
--------	--

達成目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>商業に関する知識と技術をバランスよく備えた人材を育成する。</li> <li>関係機関との連携を図り、開かれた学校づくりを推進する。</li> <li>専攻科の特性を生かした進路指導の充実を図る。</li> <li>生活指導を充実させ精神の修養を図る。</li> </ol>
------	--

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する)は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	6名

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価( 2 月 1 日 現 在)		
年 度 目 標					評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	
番 号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな教育課程に基づき授業が展開され簿記会計および情報処理に関する実践的な知識や技術をバランスよく学習し、資格取得と実践教育の調和を図った授業を行っている。</li> <li>教育課程の改変により効率的、効果的な指導法の研究が必要である。科目間の連携と実施内容の明確化を推進し、実践力の育成を図ることが求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間計画にもとづいて、各科目の授業が実施されているか。</li> <li>学生の期待する質の高い授業を実施できたか。</li> <li>教科指導力の向上のため、実務での活用事例等の研究は行われているか。</li> <li>学生が積極的に授業に参加できているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各科目の授業計画の設定に基づき、適切に授業を進める。</li> <li>授業科目において、学生の期待する学習内容を把握し授業を実施するとともに、取得可能な資格に挑戦させる。</li> <li>日常的や長期休業の際に、実務の現状を把握する研修を行う。</li> <li>発問や対話による授業展開、新聞紙面等を利用した時事的課題を授業に取り入れ、学生自らが参加し考える授業を展開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>より実践的・実務的な指導内容にもとづいた授業実施の有無</li> <li>学生からの授業評価および授業科目に関連する資格取得の状況</li> <li>研修実施の有無</li> <li>学習の取組みに関するアンケート調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各科目の授業は、年間計画にもとづいて実施されており、特に1年生の学習に成果が見られた。</li> <li>実務ベースの質の高い授業は実施できたと思われる。</li> <li>教科指導力の向上のため、日常的に実務研究を行ってきた。</li> <li>学生の授業参加は良好に行われているが、自主的な学習をさらに必要とする者もいた。</li> <li>学生からの授業評価は良好であった。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな教育課程による授業の展開を引き続き推進し、簿記会計および情報処理に関する実践的な知識や技術の修得を目指した学習活動のさらなる充実を図る。</li> <li>進路実現に結びつく学習活動の一層の充実を図る。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校との連携により学校理解を図るため、特別講義や部活動指導に可能な範囲で協力している。</li> <li>育友会組織との連携を図り、保護者や学生の意見を学校運営に一層反映させる必要がある。特に、授業要望・進路実現に関する声をもとに、開かれた学校づくりを推進する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校との連携を図ることはできたか。</li> <li>育友会との連携により、保護者の意見を反映させる機会は設けられたか。</li> <li>学生の現状、本校に対するニーズや期待を適切に把握し、対応することはできたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校において、部活協力や特別講義などを実施する。</li> <li>学校見学会や説明会の開催、高等学校への訪問など、広報活動を行う。</li> <li>育友会総会などの機会に、役員や会員からの意見や要望を聞く機会を設け、適切に対応する。</li> <li>入試情報など、ホームページの更新を適切に行う。</li> <li>学生の要望を取り入れる機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校への協力は行われたか。</li> <li>学校訪問などの広報活動は、例年以上に行われたか。</li> <li>育友会からの要望を取り入れた教育活動は行われたか。</li> <li>ホームページの更新は適切に行われたか。</li> <li>学生からの要望を聞く機会を設けたか、また工夫・改善を図ったか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校との連携は特定の部活動においては図ることができた。</li> <li>育友会を通じた保護者からの意見はあまり聞かれなかった。</li> <li>学生の現状、本校に対するニーズは学習面では把握しているが、進路面での対応は現在の決定状況からすると十分とはいえない。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者や学生の意見を取り入れた学校運営に力を入れる。特に、授業要望・進路実現に関する声をもとに、開かれた学校づくりを推進する必要がある。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の学習活動を踏まえ、会計分野及び情報分野の知識を活かした進路指導(就職指導)を行い、進路実現している。</li> <li>多方面にわたる就職先を確保するため、ハローワークとの連携を深めている。</li> <li>進路指導にあたり、学生のメンタル面の強化と持続的な進路準備の重要性を理解させる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動を活かした進路指導は行われたか。</li> <li>就職活動の取組みについて適切な進路指導が行われたか。</li> <li>学生の進路実現を果たすことはできたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容が活かせる業種や職種の情報提供を図る。</li> <li>就職ガイダンスを適切に実施し、就職試験で求められる事柄を個々の学生の状況に応じ指導を行う。</li> <li>企業見学会や就職セミナーに積極的に参加させる。</li> <li>就職試験に向け、面接指導を積極的に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内進路ガイダンスによる適切な情報提供の有無</li> <li>就職ガイダンスに向けた指導の有無、ハローワークとの連携、求人情報に基づく指導の有無</li> <li>企業見学会やセミナーへの参加機会の確保と支援の有無</li> <li>就職希望者全員への面接指導の実施状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路ガイダンスや面接指導は実施したが、学習活動を活かした進路指導が十分に図れたとはいえない。</li> <li>就職活動の取組みについてハローワークとの連携による進路指導は行われた。</li> <li>学生の進路実現は、現段階では不十分であり、今後も修了まで引き続き指導を継続していく。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動が活かされる進路指導(就職指導)を行い、全員の進路実現を図る。</li> <li>就職先の確保に向け、ハローワークとの連携を引き続き推進する。</li> <li>進路指導にあたり、学生のメンタル面の強化と持続的な進路準備の重要性を行う。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会に出る前の準備教育として、基礎的なビジネスマナーを身に付けるための取組みを行っている。</li> <li>主体的・積極的な行動をつうじ、学生が活力ある学校生活を送れるようにする必要がある。</li> <li>学生との対話を重視し、教員も率先して学生との活動に関わりを持つことが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活全般を通じて、基本的なマナーやルールを身につけさせる教育は行われているか。</li> <li>健康管理の重要性に対する意識付けを図ることはできたか。</li> <li>学生理解を心掛けているか。</li> <li>学生の意識変化は図られたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内における挨拶の励行を図る。</li> <li>職員や講師とのコミュニケーションの際に、接遇マナーを身につけさせる機会を作る。</li> <li>時間を守る、約束を守るなど基本的な事柄を身に付けさせる。</li> <li>生活全般を通じ、健康的な生活、環境美化を意識する機会を設ける。</li> <li>健康管理に対する意識づけとして、生活管理を必要に応じ行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生が充実した学校生活を送っているか。</li> <li>必要な場面では、接遇マナーを意識した行動や、適切な言葉遣いが行われているか。</li> <li>清潔で、明るく、秩序ある生活環境が維持されているか。</li> <li>学校生活全般をつうじ、学生の成長を図ることはできたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的なマナーやルールは身につけており、必要な指導は行われている。</li> <li>健康管理の重要性は、学年によりやや意識に差が生じた結果となった。</li> <li>学生理解を心掛けてきたが、学生にとって十分な取組みだったとはいえない。</li> <li>学生の意識変化はやや図られたが、さらなる意識向上が求められる。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的なビジネスマナーを身に付けるための取組みを引き続き行う。</li> <li>主体的・積極的な行動をつうじ、学生が活力ある学校生活を送れるように引き続き努力する。</li> </ul>

学 校 関 係 者 評 価
実施日 平成 30 年 2 月 16 日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>学習活動の充実に向けて引き続き頑張ってもらいたい。</p> <p>高校との連携も図っていくことが期待されます。</p> <p>生徒の進路実現をさらに高める形で引き続き努力して頂きたい。</p> <p>社会から求められている活力ある人材育成に向けて引き続き取り組んで頂きたい。</p>